国労盛岡

発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　齋藤庄司
編集者　中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス
nrumori@poem.ocn.ne.jp

2007.11.10
第1391号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」

「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入まってます」

解決交渉のテーブル設置求める

「国鉄闘争勝利岩手県集会」

地方本部は、JR不採用事件の早期政治解決を求める一県一集会「国鉄闘争勝利岩手県集会」を平和環境岩手県労働組合センターにも取り組みを要請し一〇月二八日に岩手県労働福祉会館六階（盛岡市）で開催した。集会には、国労組合員、平和環境岩手県労働組合センター傘下組合員を含め一三〇人が参加した。

集会には、国労本部、北海道本部、東日本本部の委員長と当事者として早期解決を求め闘い続けている帯広・音威子府闘争団の代表も参加。本部からの情勢報告と闘争団からの解決に向けた決意表明を受け、早期解決に向けた一一・三〇全国集会などの取り組みと解決交渉のテーブルの設置を強く求める集会決議を確認し終わった。

「帯広・音威子府から決意」

共闘仲間含め130人参加

集会には共闘の仲間ふくめ130人が参加

集会は、佐々木地本書記長の司会ではじまり、齋藤委員長が主催者代表し、「二〇年前の民営分割化当時は職場で多くの集会が開かれ国労の分断と脱退が図られた。しかし、国労運動を信じ先輩の六本木本部元委員長、樫村同元書記長を輩出した盛岡車掌区の国労の旗を守ってきた。苦しい闘いだったがそれより厳しくつらい闘いを強いられたのが闘争団の仲間であり家族だった。二〇年の節目になんとしても解決させたい。それには先の大会で選出された高橋伸二本部委員長を盛岡の地でしっかり支えることが大事だ」と挨拶。

続いて、高橋本部委員長からは、「採用差別事件の早期解決に向けた、四者・四団体を中心とする闘いの現状報告と何としても解決したい」との挨拶を受け、伊沢昌弘社民党岩手県連合幹事長、中村亨平和環境岩手労組県労組センター副議長の挨拶と進んだ。

その後、「四党合意時の蟠りを払拭し、解決を求めキャラバン行動を成功させ、一一・一八道本部決起集会、一一・三〇中央集会と闘いを進めていく。団員と共に雪解けの春をむかえたい」（花井勝幸北海道本部委員長）、「現在団員二〇人で闘っている。岩手とも交流を再開できている。一一・三〇集会にも参加し、私自身納得する解決を図りたい。今回の集会への参加の呼びかけに感謝している」（馬渕茂帯広闘争団団長）、「昨年呼びかけがあり青森支部とも交流ができている。もう一度手を取り合い闘っていきたい。二人の団員が闘い志半ばで亡くなっている。何としてもこの機会に解決の実現をさせなければならない」（杉山均音威子府闘争団事務局長）、「盛岡地本も解決に向け全力で取り組みを展開していく」（佐々木盛岡地本書記長）と決意表明が四人からそれぞれ行われた。

最後に、「国労の団結を強化し、支援共闘の仲間と連携して、一日も早い政治解決を図るため、関係当事者と解決交渉のテーブル設置を図るよう強く求めるものである」との集会決議を採択し団結がんばろうで終わった。

当日は、砂金文昭岩教組委員長らが呼びかけ人となり、集会終了後四階に場所を移し八月に本部委員長に就任した高橋伸二氏の「国労本部委員長就任・高橋伸二氏を励ます会」が開かれ、平和環境岩手労組センターを中心に国労組合員を含めて約九〇人が参加した。ゆかりの深い小野寺郁郎労金県本部長、小原宣良社民党県連合代表、高嶋昭一国労本部元委員長の激励の言葉があり、それを受けて高橋伸二委員長が御礼の挨拶。その後、朝子婦人への激励花束の贈呈が行われ、村上熙東北労金前理事長の発声で乾杯し懇親へ移った。

各単組からは激励や労をねぎらうスピーチや高橋委員長を地方から支えていく決意が多く聞かれ、会場は最後まで大いに盛り上がった。

両支部大会

闘争方針を確立し新役員を選出

一〇月二七日盛岡支部大会、一一月四日に青森支部大会がそれぞれ開催され、当面する闘争方針を確立した。

なお、今年の大会は役員改選の年となっており、次の通り役員が選出された。

◇

〈盛岡支部執行体制〉

▽執行委員長
佐々木研司（雫石駅）

▽執行副委員長
佐藤都久雄（水沢駅）
菅原　高明（盛岡電技セ）

▽書記長
沢田　光広（仙建・二戸）

▽執行委員
米田　勝義（盛岡車両セ）
戸田　智章（盛岡貨物総鉄）
婁岩　哲彦（盛岡駅）

▽会計監査
工藤　公平（盛岡幹車両セ）
中塚　英雄（盛岡幹運輸区）

◇

〈青森支部執行体制〉

▽執行委員長
阿部　一久（八戸運輸区）

▽執行副委員長
阿保　光春（青森運輸区）
福士　嗣国（仙建・青森）

▽書記長
笹山　賀庸（八戸幹保技セ）

▽書記次長
田崎　秋弘（青森運輸区）

▽執行委員
高橋　清光（青森車両セ）
横内　俊博（青森保線技セ）
野村美津男（八戸駅）
成田　芳隆（青森保線技術セ）
石田　春夫（八戸電力メセ）
高瀬　貴弘（青森駅）

▽特別執行委員
小泉　正直（青森運輸区）

▽会計監査
長崎　識義（蟹田駅）
田高　修司（青森貨物総鉄）

環境問題を22人で学習

＝10／14・地本家族会＝

徳谷さんの話しに熱心に聞いる参加者

一〇月一四日、国労会館で地本家族会学習交流会（二二人参加）が岩手県地球温暖化防止活動推進員の徳谷喜久子さんを講師に招き開催され、身近な環境問題について勉強しました。

徳谷さんからは「地球温暖化によって異常気象の多発化、海面上昇など、自然環境に直接的な影響をもたらし、生態系にも影響を与え深刻な問題になっています。近年の二酸化炭素排出量は一九九〇年と比較すると家庭やオフィス、自動車などの排出量が高い伸びを示し、世帯数の増加に加え家電製品等の普及、自家用車の使用増などによるものとされています。日本の一九九〇～二〇〇四年度の温室効果ガス排出量データの発表によると、家庭からの二酸化炭素排出量は多い順に電気、ガソリン、灯油、都市ガス、ごみ、LPガスとなっています。家庭の省エネ三つのポイントとして①機器選びは省エネ型②家電製品のスイッチをこまめに切る、使わない家電製品はコンセントから抜く③家を建てるなら高断熱化、高密化住宅にすること」とのお話がありました。「今日から貴方にできることは？」の質問に対し、水や電気の節約・エコバックの使用ごみの量を減らす。自転車の利用、エコドライブに心がけるなどの積極的な発言がありました。

将来の世代のためにも私たち一人ひとりが、地球温暖化問題を自らの問題として捉え、家族会も命と暮らしを守る運動の一環として温暖化の防止に取り組でいくことが大切だと感じました。

阿部むつ子（青森）

当面の主な日程

▽11月17日（盛岡）
地本工務協議会定期委員会

▽11月22日（東京）
地本地域間・広域出向・エリア異動者激励交流会
第3回地本執行闘争委員会

▽11月23日（盛岡）
東北貨物協議会定期委員会

▽11月25日（盛岡）
地本交渉委員・職能別協議会代表者会議

▽11月30日（東京）
JR採用差別全面解決を求める全国集会

▽12月6日（盛岡）
第4回地本執行闘争委員会

▽12月8日（盛岡）
東日本本部・東北ブロック第1回主任職者交流会

▽12月11・12日（盛岡）
本部盛岡地本会計監査

「JR採用差別」全面解決を迫る 11・30全国大集会

とき　2007年11月30日（金）18時00分～
ところ　日比谷野外音楽堂

ていこう

東北新幹線並行在来線問題の第二段です。前回は最後に、「県民の足を守る為に、両県に於ける県議会選挙に勝利し・・・行政を巻き込んだ運動の展開をしなければ・・」と結びました。結果、四月の統一地方選挙で盛岡地本として、三人の組織内県会議員が誕生しました、「国労魂此処にあり」の心境は私だけでしょうか▼本題です。この時期になって三年後に開業を控えた八戸―新青森間における並行在来線の経営分離は、岩手・青森両県の財政に益々大きな負担になることが明らかになってきました。いわて銀河鉄道は今後独自に指令システムを新設しなければならず、その設備投資が二〇数億円とも言われています。そのほか貨物列車の運行による、架線や軌道等を含む設備メンテコストが過大な負担となるとしています▼一方青い森鉄道は、青森延伸時に車両調達、開業準備などの初期投資に二三億円程必要とされています。第三種鉄道事業者の青森県は、新幹線建設に約二六〇〇億円もの地元負担を抱え、一六〇億円とされている既存のJRからの鉄道資産取得費をあわよくば無償にしようと真面目に議論しています。民間の会社が、株主を無視してそんな事が出来るはずがありません▼岩手県の達増知事は「東北本線という国にとっての大動脈を全面的に地方と三セクに任せっぱなしでいいはずがない・・」と述べ、調整金制度の抜本的見直しを働きかけるとしています。まさにその通りで、地方と中央の格差是正が叫ばれる今こそ、国の責任で公共輸送存続をさせる運動を地域と一体となり進めなければなりません。（阿）

青森支部 音威子府交流

4者・4団体の団結で解決を

「青森での物販オルグも約束」

青森支部による音威子府闘争団激励交流派遣が、七年ぶりに一〇月一九日～二二日の強行日程のなか、江良青森県平和労組議長、阿部支部委員長、笹山書記長、蝦名地区協議長のメンバーで行われた。

音威子府事務所前でのスナップ。左から笹山、阿部、江良、蝦名の各氏。

一九日夜八戸発フェリーで出発、悪天候、満員状態の船酔い寝不足の中、翌朝苫小牧港に定時に着岸した。雨の中一路音威子府目指し車を走らせ、途中砂川Pで話題のスープカレーで朝食、暫しの休憩で何とか体調も良くなった。朝方の雨もいつの間にか青空にかわり、周りの山々は紅葉が見ごろで秋の北海道に胸を躍らせ車を走らせた。

音威子府の前にもう一つの訪問箇所、毛ガニ販売でお世話になっている枝幸町の三宅商店に向かった。スキンヘットで想像とは違った社長が出てきてビックリしたが、いつもの電話の声で気さくに迎えてくれた。阿部委員長からこれまでのお礼と今後の取り組みをお願いし、漁の様子を聞いたら「ロシアの船は毛ガニ網までかっぱらって行き困っている」と話してくれた。

到着した闘争団事務所では金児団長が急遽東京に呼ばれ留守とのことで、泉谷特別執行委員と杉山事務長が迎えてくれた。休憩後に杉山事務長の案内でみそと木工工場を見学したが、以前とは数段に技術が進歩し素晴らしい作品に仕上がっていた。

その後、天塩川温泉に移動し夜は待ちに待った闘争団との懇親会が開催された。闘争団からは泉谷・杉山・藤保・滝川・高橋・小西さんの六人が参加し、泉谷さんの進行で全員から挨拶を頂き、色々あって青森との交流が途絶えていたが、今後はこれを機に「四者・四団体」を軸に大衆行動を全力で取り組み、年内・年度内の早期解決に向け共に闘うことを確認した。また、懸案であった青森県内での物販オルグを早急に開くことを約束した。交流は時間の経つのも忘れ、家族や「ねぶた」の思い出話に花を咲かせるうちに七年間の空白が埋まっていくようであった。

交流の中で、「音威子府は青森との支援交流があったからこそ、今日まで闘い続けられた。この七年間、秋田・新潟へのオルグの途中、青森支部を見ながら出かけていた」と話された。団員の平均年齢は五〇才、長引く不況と記念品活用の激減により物販売り上げがピーク時の半減となって、大変厳しい生活をしている現実を痛感した。だからこそ「四者・四団体」の更なる団結と連帯を図り、もう一度原点に返った闘いを組織し年内解決に向け行動を起こす事を決意し交流会を終えた。

翌日は羊羹工場を見学し滝川さんの手作り木工品をお土産に頂き音威子府を後にした。

青森地区協　蝦名忠夫

客貨受委託解消問題で交流

＝青森貨物・同運転分会＝

一〇月一一日、青森貨物（一二人）・青森運転分会（八人）交流会が国労青森会館で開催されました。

交流会は、来年三月のダイヤ改正で貨物会社が現在青森車両センター東派出所に委託している機関車の仕業検査業務の客貨受委託解消を行い直轄で行う。東日本は東派出所からすべて撤回。これにより仕業検査業務だけでなく機関車の入出区に誘導入換業務が貨物会社に発生する。また、構内が貨物会社と青い森鉄道に分断され、貨物会社は新幹線青森開業までの二年間借り入れるなどという問題があり、現在東派出所にいる仲間と交流をはかりお互いの問題点を出し合い今後の闘いにつなげる目的で開催されました。

蝦名貨物分会長から①入換業務を八戸臨海鉄道に委託する（要員がいない。どこから要員を持ってくるのか具体性がない）②仕業検査業務（EF510）を富山機関区で研修後、青森へ転勤（八人規模）＝EF510の検修基地が富山機関区以外に基地がない。研修に対する不安、研修に行く人の不安、現在員による労働強化（研修期間中の要員補充なし）③仙台から青森へ遠距離転勤が強行される。また、佐々木運転分会長から①職場に対する不安（職場が無くなることと本所に戻ってからの不安）②委託解消にむけて、一〇月に入り盛岡へ転勤、本所への見習いなどが数人出ている③安全に対する不安、労働強化（現在一交六本、貨物は一交一本で、安全面での不安、労働強化になる）との報告があり、問題点を今後の闘いと行動に活かし交流を深めることを確認しあいました。

青森貨物分会　兼平　勉

地本役員はこんな面々

よろしくお願いします

▽執行委員長
齋藤　庄司（五二）
（盛岡運輸区分会）

▽執行副委員長
阿部　一久（四七）
（八戸運輸分会）

▽執行副委員長
小林　良宏（四七）
（盛岡施設分会）

▽書記長（専従）
佐々木　力（四九）
（一戸地域分会）

▽執行委員
中堤　聡司（五〇）
（北上施設分会）

▽執行委員
菊池　要悦（四四）
（盛岡駅連合分会）

▽特別執行委員
小野寺京子（五二）
（一関運輸分会）

▽特別執行委員
佐々木研司（四九）
（盛岡駅連合分会）

▽特別執行委員
笹山　賀庸（四六）
（八戸工務分会）

▽会計監査員
高橋　亮一（五二）
（北上駅連合分会）

▽会計監査員
田中　光（五三）
（盛岡駅連合分会）

▽会計監査員
山川　治（五一）
（青森運転分会）

各種ローン特別金利取り扱い実施中〈東北労働金庫〉

〔お取扱い期間〕2007年10月1日（月）～2007年12月28日（金）

ろうきん住宅ローン特別金利（2007年10月1日現在）

固定金利選択型		上限金利設定型	
固定金利3年	年1.20%	5年	年1.30%［上限金利］年3.10%
固定金利5年	年1.60%	10年	年1.80%［上限金利］年3.70%
固定金利10年	年2.30%		

●ご融資金額　最高1億円　●ご融資期間　最長35年

ろうきんマイカーローン特別金利（2007年10月1日現在）

固定金利5年	年2.30%	（ご融資期間　5年以内）
固定金利7年	年2.65%	（ご融資期間　5年超7年以内）
固定金利10年	年2.95%	（ご融資期間　7年超10年以内）
変動金利	年2.125%	（ご融資期間　最長10年）

●ご融資金額　最高500万円
●ご融資期間　最長10年

ろうきん教育ローン特別金利（2007年10月1日現在）

固定金利5年	年2.20%	（ご融資期間　5年以内）
固定金利7年	年2.55%	（ご融資期間　5年超7年以内）
固定金利10年	年2.85%	（ご融資期間　7年超10年以内）
変動金利	年2.025%	（ご融資期間　最長15年）

●ご融資金額　最高1,000万円
●ご融資期間　固定金利型最長10年　変動金利型最長15年

※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※店頭に説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2007年10月1日現在

予約相談サービス実施中!
平日午後3時～7時まで、ご相談を承ります。
（ご予約はお近くのろうきんへ）

生活応援バンク ろうきん　東北労働金庫　0120-1919-62　http://www.tohoku-rokin.or.jp